

環境ビジョン 3

交流と教育・文化のまち

わたしたちの地球環境問題への関心の度合いは、世界から見ても非常に高いレベルであることがわかっています。しかし、一人ひとりの環境負荷の少ないライフスタイルへの転換や持続可能な地域社会づくりについてはあまり進んでいないのが現状です。

これは、これまでの環境教育・学習機会が、ライフスタイルや地域の課題を総合的な視点で捉えた具体的な取り組みへと結びついていなかったからといえます。

本市には、先人から受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産、伝統芸能といった地域文化を形成する数多くの地域資源が存在しています。

持続可能な地域社会の実現のためには、地域に住む一人ひとりがこうした地域の恵みを保全し、活かしながら、学校や地域が連携して環境教育・学習を進めることが大切です。

また、学校や地域をはじめ、自治体や海外との積極的な交流は、地域の特色をより一層高められるきっかけとなります。

わたしたちは、自然、歴史・文化資源を活かした魅力的な「新城らしさ」あふれる『交流と教育・文化のまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

1 環境教育

●拠点づくり

【環境教育拠点の整備】

地球温暖化や廃棄物などに見られる環境問題は、人のライフスタイルと密接に関わっています。こうした問題の解決のためには、現在の大量生産 → 大量消費 → 大量廃棄を基調にした高負荷なライフスタイルを、極力環境への負荷の少ないものへ速やかに変革していく必要があります。

それには、一人ひとりが、それぞれの日常行動が環境にどのような影響を与えているか、また、そのことが自分たちの生活や将来の世代にどのような影響を及ぼすかなど、人と人を取り巻く環境との相互作用について理解し、行動に結びつけていけるような環境教育の拠点の整備が重要な要素となります。

本市では、鳳来寺山参道の門前にある「鳳来寺山自然科学博物館」が環境教育の拠点として挙げられます。「足下の気づき」から 地域を知る → 何をすべきか考える → 実際に行動するというコンセプトの下でさまざまな講座、展示が行われています。



《鳳来寺山自然科学博物館の主な取り組み》

鳳来寺山を中心とした奥三河の自然に関する展示と、足元の自然をテーマにした特別展や、野外学習会、子ども向け自然講座、現地見学ツアーなどの活動を活発に行っています。

また、博物館友の会があり、市内はもとより県内外に多くの会員がいて博物館を活用しています。会員の有志によるボランティアグループ「博物館協力隊」(子どもから大人まで26名が登録)が結成され、博物館主催で開催する野外学習などの補助や環境整備活動、資料整理などを行うとともに、友の会主催の自然観察会などの講師などもつとめています。

郷土の自然について調査、展示、教育普及、資料収集するといった、さまざまな博物館活動を市民ボランティアとともに力をあわせて推進しています。



こども自然講座

◇野外学習会

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
5月2日(土)	ツツジ・シャクナゲの花を楽しもう	26	愛知県民の森
5月31日(日)	鳳来寺山で初夏の生きものとモリアオガエルなどを観察しよう	47	鳳来寺山
7月12日(日)	栗代鉱山の見学	55	東栄町栗代
10月11日(日)	きのこを調べよう	45	うでこき山
11月15日(日)	鳳来寺山の紅葉を楽しむ	30	鳳来寺山
12月6日(日)	豊川の水鳥を観察しよう	26	桜淵公園
1月17日(日)	日本一の杉と森の生きものたち	32	鳳来寺山
2月14日(日)	冬の自然たんけん	22	市内

◇子ども自然講座

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
7月26日(日)	鳳来寺山の魚や獣を調べよう	8	鳳来寺山、博物館
8月9日(日)	コケの楽しさー小さくて不思議な日陰ものー	1	鳳来寺山、博物館
8月30日(日)	川砂の観察 ー砂の中から宝石や鉱物を取り出すー	16	音為川、博物館

◇ジュニアナチュラルリスト養成楽級・川辺の学校「生きもの教室」

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
5月10日(日)	魚や水辺の虫たち	17	玖老勢・海老川
7月5日(日)	水の中の生きものたち	12	
9月13日(日)	魚と水辺のけものたち	16	
11月29日(日)	水辺の鳥たち、まとめ	15	

【公民館活動の整備・充実】

市では、農地の保全、開水路・農道等施設の適正な管理保全による長寿命化とともに農村環境を保全する効果の高い取り組みを行う活動組織を支援しています。

現在、市内19地区で農地保全のための活動が行われ、そのうち11地区においては生態系保存のための実践活動も行われています。

◇活動状況

No.	地区名	活動組織名	主な活動
1	上平井	上平井地域環境保全隊	生物生息状況把握、水質モニタリング調査ほか
2	片山	片山地域環境保全隊	生物生息状況把握、田法面への植栽ほか
3	牛倉	牛倉地域環境隊	大宮川の生物状況把握、水仙の植栽
4	鳥原	鳥原地区環境保全会	希少種の監視及び生息状況の把握、施設への植栽ほか
5	浅谷	浅谷地域の環境を守る会	五反田川の水質・魚の生息調査、コスモス等の作付け
6	石田	石田の地域環境を守る会	ホタルなどの生息調査
7	豊島	豊島環境保全会	放流等を通じた在来生物の育成、生物生息状況把握
8	田代	田代地域環境保全会	在来生物の育成活動
9	黒瀬	黒瀬美土里会	水路内の生物生息状況把握
10	善夫	善夫守里隊	水路内の生物生息状況把握
11	菅沼	菅沼を良くしまい会	水路内の生物生息状況把握

●環境教育・学習

市では、身近な自然の様子から地球温暖化といったグローバルな環境問題にいたるまで、ニーズに応えた環境学習を実施しています。

《親と子の走る環境教室》

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクロバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。

平成21年度は、あいち臨空新エネルギー実証研究エリアと新舞子マリンパーク風力発電所を見学し、親子でエネルギー問題の重要性や温暖化対策などについて学びました。

◆ 8月6日（木）

参加者数 児童6名 保護者5名

◆ 8月7日（金）

参加者数 児童20名 保護者14名



◇親と子の走る環境教室の開催状況

年度	見学先
H13	県下水道科学館（平和町）自然共生研究センター（岐阜県川島町）
H14	王子製紙株式会社春日井工場（春日井市）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H15	トヨタ「里山学習館エコの森ハウス」（豊田市）
H16	愛知県下水道科学館（平和町）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H17	川売・梅の里、四谷・千枚田（旧鳳来町）段戸・きららの森（設楽町）
H18	でんきの科学館、エコパルなごや（名古屋市）
H19	コカ・コーラ東海北工場、東邦ガス（株）ガスエネルギー館（東海市）
H20	中部電力川越火力発電所・川越電力館テラ 46（三重県川越町）
H21	あいち臨空新エネルギー実証研究エリア（常滑市）新舞子マリパーク風力発電所（知多市）

《市民環境講座》

市では、環境問題に取り組んでいる、若しくはこれから取り組もうとされているみなさんを対象に「環境活動に関する学習機会」を提供するために、平成16年度から毎年「市民環境講座」を開催しています。平成21年度のテーマは引き続き「地球温暖化」とし、国連環境計画生物多様性条約事務局で勤務され、現名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授の香坂玲さん、名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授で気象予報士の杉山範子さんをお招きし、多くのみなさんの参加を得ました。



- ◆12月6日（日） 講師：香坂玲氏
生物多様性ってなに？
～生き物が告げる地球の危機～
新城文化会館大会議室 参加者46名
- ◆1月23日（土） 講師：杉山範子氏
地球温暖化とくらし
～私にできることってなんだろう～
新城文化会館大会議室 参加者40名

《水生生物調査》

市では、市内小中学校の生徒や行政区と河川における水生生物調査活動を行っています。

ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。



◇水生生物調査実施の状況（平成21年度）

学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
鳳来東小学校	大島川	6月25日	17
菅守小学校	菅沼川	6月29日	8
新城小学校	豊川	7月3日	72
東陽小学校	真立川	7月7日	39
千郷中学校	野田川	7月13日	33
千郷小学校①	野田川	7月14日	33
千郷小学校②	野田川	7月14日	33
千郷小学校③	野田川	7月15日	34
千郷小学校④	野田川	7月15日	34
石田区水生生物調査会	石田地内 庚申川支流	8月1日	50
八名中学校	宇利川	8月4日	12
豊島環境保全会①	杉川	8月23日	20
豊島環境保全会②	殿田川支流（農業用水路）	8月23日	20
実施13回（5小学校・2中学校・2団体）			計405名

残念ながら、行政側の都合により、平成20年度より水生生物調査のニーズ全てに対応できなくなっています。これは学校側からの調査依頼時期が集中することもひとつの要因として挙げられますが、対応できる人材の育成など問題解決を図っていく必要があります。

《地球温暖化に関する学習会》

持続可能な社会を構築していくためには、住民の方々の環境に配慮した行動も大切です。

市では、緊急な課題である気候変動などの地球温暖化問題に対し、状況を理解し、自ら考え、行動していただくため、要望により学習会を実施しています。

1 授業90分を基本に、受講される方の習熟度によって講座内容を変更しています。



◇地球温暖化に関する学習会実施状況（平成21年度）

団体名等	主な内容	実施日	参加人数
庭野小学校	温暖化防止教室	7月1日	20
新城小学校	温暖化防止教室	7月7日	68
石田区水生生物調査会	温暖化防止教室	8月1日	40
イズテック(株)新城工場	温暖化防止教室	8月18日	40
開成小学校	温暖化防止教室	12月8日	19
実施5回（3小学校・2団体）			計187名

《ごみに関する環境学習》

市では、ごみの出し方や分け方をはじめ、処理の方法などについて実際に現場を見学して理解してもらうことを目的に、市内小学校の4年生を中心にごみに関する学習を実施しています。

◇ごみに関する学習会実施状況（平成21年度）

見学日	学校等名	見学者数	見学施設			見学時間
			クリーンセンター	資源集積センター	鳥原埋立処分場	
5月13日(水)	鳳来寺小学校	9人	○		○	9:00～11:00
5月15日(金)	千郷小学校	127人	○			9:20～11:20
5月21日(木)						
5月18日(月)	鳳来中部小学校	43人	○			9:15～10:45
5月19日(火)	東陽小学校	37人	○		○	9:00～11:30
5月22日(金)	黄柳野小学校	6人	○		○	9:30～11:45
5月26日(火)	菅守小学校	6人	○			10:00～11:00
5月27日(水)	舟着小学校	12人	○			9:30～11:00
5月29日(金)	巴小学校	21人	○		○	9:30～11:20
6月1日(月)	東郷西小学校	59人	○			10:00～11:15
6月2日(火)	八名小学校	48人	○	○	○	9:00～11:00
6月3日(水)	東郷東小学校	40人	○		○	9:00～11:00
6月5日(金)	鳳来西小学校	9人	○		○	9:50～11:30
6月17日(水)	庭野小学校	10人	○		○	9:00～11:10
6月24日(水)	海老小学校	10人	○		○	9:30～11:20
	連谷小学校	3人	○		○	9:30～11:20
6月26日(金)	商工会(中国人研修生)	14人	○			13:30～15:00
7月1日(木)	新城小学校	69人	○			9:00～12:00
実施18回（16小学校・1団体）						計523名

《水道に関する環境学習》

市では、子どもたちに水道に関する基礎知識を学ぶことにより、水環境に対する興味と関心をもってもらうことを目的に、市内小学校4年生を対象に水道教室を実施しています。

水道講座（パワーポイントによる水道の基礎知識の学習および簡易急速ろ過実験）および、希望校については鯉淵浄水場はじめ、それぞれ地区の浄水場見学を実施しています。

◇水道に関する環境学習実施状況（平成21年度）

学校名	内容	実施場所	実施日	参加人数
鳳来中部小学校	講座	鳳来中部小学校	6月2日	41名
新城小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月3日	66名
東陽小学校	講座・見学	東陽小学校・大野浄水場	6月4日	35名
鳳来寺小学校	講座	鳳来寺小学校	6月9日	8名
菅守小学校	講座・見学	菅守小学校・作手菅守浄水場	6月12日	5名
東郷西小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月17日	56名
東郷東小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月19日	33名
庭野小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月22日	8名
八名小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月23日	45名
鳳来西小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月24日	8名
協和小学校	講座・見学	協和小学校・作手保永浄水場	6月26日	3名
千郷小学校	講座	千郷小学校	6月29日	61名
千郷小学校	講座	千郷小学校	6月30日	61名
舟着小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	7月1日	12名
黄柳野小学校	講座・見学	黄柳野小学校・南部第2浄水場	7月2日	5名
海老小学校	講座・見学	海老小学校・北部第2浄水場	7月3日	10名
実施16回（15小学校・22クラス）				計457名

《環境ポスターコンクール》

市では、ごみの減量化・資源リサイクル・環境美化の意識を高揚し、環境問題に関心を持っていただくため、社会科の授業で「ごみ」について勉強している小学4年生を対象に、環境ポスターの募集を行っています。平成21年度は140点の作品が寄せられました。

◆金賞2名、銀賞3名、銅賞5名、入選10名



平成21年度金賞作品

《チーム・マイナス6%しんしろ》



市では、市民のみなさん、事業所がひとつのチームとなり、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できる限り大きな成果を挙げることを目的として「チーム・マイナス6% しんしろ」を結成しました。

多くの方にこの取り組みを知っていただくために、さまざまな機会を通じて、PR活動を実施しています。

■ 「チーム・マイナス6%」って何するの？

CO₂削減のために、具体的な「6つのアクション」を提案しています。チーム全員が、日々のちょっとした気遣いを積み重なれば、確実に大きな削減効果が期待できます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 温度調節で減らそう | 4. 商品の選び方で減らそう |
| 2. 水道の使い方で減らそう | 5. 買い物とごみ袋で減らそう |
| 3. 自動車の使い方で減らそう | 6. 電気の使い方で減らそう |

◆平成21年度末登録数 個人1,537名 団体8団体

※平成22年より、「チーム・マイナス6%しんしろ」は、国の動きに合わせ「チャレンジ25 新城」へ移行しています。

◇平成21年度 チーム・マイナス6%しんしろの活動状況

実施日	活動の内容
4月19日	「第60回リサイクルフリーマーケット」にて、環境紙芝居の実施やチーム・マイナス6%しんしろの登録ブースを設置しPR。チーム員登録124名。
5月14日	環境課の窓に緑のカーテン事業としてゴーヤの苗を植え付け。
5月23日	団体チーム員でもある横浜ゴム(株)新城工場で開催された「千年の杜植樹会」に参加。
5月27日	市役所内のエコオフィス推進会議にて各部署においても緑のカーテン事業に取り組むことを決定。
6月10日	ケーブルテレビ「ティーズ」の番組「ほのかだより」にて、省エネ器具モニター制度を紹介。
6月29日～ 7月13日	環境省における「次世代自動車等導入促進事業」の一環として、電気自動車による実証試験事業が行われ、本市も県を通じ電気自動車(スバル「プラグイン・ステラ」)を借り受け。
7月1日	庭野小学校の5年生を対象に温暖化防止教室を開催。参加者20名。
7月4日～5日	「ツール・ド・新城」会場にて、電気自動車や燃料電池自動車の展示、チーム・マイナス6%しんしろをPR。また、ママチャリ部門に2チーム参加。2日間のチーム員登録46名。
7月7日	「クールアースデー」として定められ、全国的に照明の一斉消灯などが行われるなか、新城市でも「市内一斉気温測定」を行い、この取組に参加。 参加団体：市施設3箇所、市内保育園18園、市内幼稚園2園。
	新城小学校の4年生を対象に温暖化防止教室と電気自動車の体験乗車会を開催。 参加者68名。

7月8日	岡山県玉野市市議会の視察があり、チーム・マイナス6%しんしろなどについて説明。
7月21日～	緑のカーテンで収穫したゴーヤなどを市民課前の待合室で市民に配布。
8月1日	石田区水生生物調査会にて温暖化防止教室を開催。参加者40名。
8月6日～7日	親と子の走る環境教室を開催。あいち臨空新エネルギー実証研究エリアなどの見学を通して、親子で新エネルギーについて学んだ。 大人20名、子ども27名参加。チーム員登録、2日間合わせて21名。
8月18日	イズテック(株)新城工場の社員を対象に温暖化防止研修を実施。参加者40名。 チーム員登録30名。
9月7日	三河地域では初となる「電気自動車アイミーブ」が市の公用車として納車され、市役所で納車式を行う。
11月1日	「設楽まつり」の消防ブースにて電気自動車のPR。
11月8日	「つくで祭り」にてチーム・マイナス6%しんしろをPR。チーム員登録128名。
11月14日	新城文化会館はなのき広場にて「キャンドルナイト新城2009」を開催。参加保育園及び幼稚園13園、キャンドル2,000本を点灯。また、会場では環境紙芝居やハチドリ宣言も実施。来場者数2,000人。
12月6日	市民環境講座「生物の多様性ってなに？ ～生き物が告げる地球の危機～」を開催。文化会館大会議室。参加者60名。チーム員登録14名。
12月8日	開成小学校の3～6年生を対象に温暖化防止教室と電気自動車の体験乗車会を開催。参加者19名。
1月20日	埼玉県八潮市市議会の視察があり、チーム・マイナス6%しんしろなどについて説明。
1月23日	市民環境講座「地球温暖化と暮らし ～私にできることって何だろう～」を開催。文化会館大会議室。参加者57名。
1月28、29日 2月2、3、5日	職員研修「地域の主体性を大切にしたい、再生可能エネルギーの飛躍的拡大を」を開催。参加職員5日間合わせて228名。
2月23日	地域の主体性を大切にしたい、再生可能エネルギーの飛躍的拡大を ～日本社会への提案～ について記者発表。
3月21日	「新桜通りふえすた」にて電気自動車の展示、体験乗車会を実施。また、県環境保全課と共に水質浄化のモデル実験を実施。
3月23日	「自然エネルギー普及促進に対する市長の考え」を職員に伝えるため、県のサポートによる職員勉強会「温故知新エネルギー」（講師：名古屋大学エコトピア科学研究所 准教授 小林敬幸氏）を開催。参加市職員、関係自治体職員49名。

2 歴史・文化

●歴史的・文化的環境の保全整備

【史跡、名勝、天然記念物や建造物の保持】

《長篠城址史跡保存整備事業の実施》

国指定史跡長篠城址の公有地化による保存公開のみならず、復元整備による史跡公園化を図り、市域の歴史を代表する史跡の活用を積極的に観光や都市計画などの分野や研究機関等と連動を図ることを目的に、長篠城址史跡保存整備事業を行っています。平成21年度は、長篠城跡周辺地にて第11次試掘調査（調査面積100㎡）を行い、戦国時代以後の遺構の一部を確認することができました。



出土遺物状況



遺構掘削の一部

◇指定文化財の状況

平成21年度末現在

	種別	名称	所在地	指定年月日
国指定文化財	建造物	東照宮	門谷	S28. 11. 14
		鳳来寺仁王門	門谷	S28. 11. 14
		望月家住宅	黒田	S49. 2. 5
	絵画	絹本著色三千仏名宝塔図	中宇利	H 6. 6. 28
	彫刻	木造薬師如来坐像	庭野	S 6. 12. 14
		木造阿弥陀如来坐像 附 木造観音菩薩坐像	巢山	S52. 6. 11
	無形民俗	三河の田楽	門谷・七郷一色	S53. 5. 22
	史跡	長篠城跡	長篠	S 4. 12. 17
	名勝	鳳来寺山	門谷	S 6. 7. 31
		阿寺の七滝	下吉田	S 9. 1. 22
	天然記念物	乳岩及び乳岩峡	川合	S 9. 1. 22
		馬背岩	豊岡	S 9. 5. 1
		黄柳野つげ自生地	黄柳野	S19. 3. 7
甘泉寺のコウヤマキ		作手鴨ヶ谷	S47. 5. 26	

	種 別	名 称	所在地	指定年月日
	国登録文化財	建造物	旧黄柳橋	乗本
瀧川家住宅主屋			出沢	H17. 2. 28
瀧川家住宅長屋門			出沢	H17. 2. 28
瀧川家住宅祠			出沢	H17. 2. 28
旧大野銀行（大野宿鳳来館）本館			大野	H21. 1. 8
旧大野銀行（大野宿鳳来館）土蔵			大野	H21. 1. 8
県指定文化財	絵画	甘泉寺の涅槃図	作手鴨ヶ谷	S47. 6. 7
	彫刻	木造十一面観音立像	杉山	S32. 1. 12
		木造不動明王立像	巢山	S53. 3. 15
		木造熊野三所懸仏	巢山	S54. 3. 22
	無形民俗	信玄原の火おんどり	竹広	S40. 5. 21
		乗本万灯	乗本	S51. 7. 14
		南設楽のほうか	大海・布里・一色 塩瀬・源氏・名号	S58. 9. 14
		設楽のしかうち行事	能登瀬	S58. 3. 7
	史跡	宇利城跡	中宇利	S32. 9. 6
		旗頭山尾根古墳群	八名井	S53. 5. 29
		断上山古墳9・10号墳	大宮	S53. 10. 16
	名勝	満光寺庭園	下吉田	S49. 7. 3
	天然記念物	須山のイヌツゲ	作手清岳	S29. 2. 5
		ムカデラン自生地	川合	S30. 5. 6
		ねずの樹	門谷	S30. 7. 1
		長ノ山湿原	作手岩波	S48. 11. 26
		中宇利丸山の蛇紋岩植生	中宇利	S55. 2. 12
市指定文化財	種 別	指定数	名 称	
	建造物	8	能舞台、満光寺の山門、薬師堂他	
	絵画	3	太田白雪画像、鳥居勝商磔殺の図他	
	彫刻	29	木造十一面観音立像、木造大日如来坐像、木造子安観音立像、石造庚申碑、木造神馬、石造閻魔大王他	
	工芸品	6	能装束・能面、鰐口、唐の頭、喚鐘、鉄砲、梵鐘	
	典籍	8	太田白雪自筆著書、太田白雪「きれぎれ」他	
	古文書	38	今川義元証文、今川氏真証文、菅沼家家譜、慶長9年検地帳、御觸書留帳（町役場日記）等	
	考古資料	7	大ノ木遺跡他遺跡、茶臼山古墳他古墳出土品等	
	歴史資料	1	吉田川井堰引船図 附 井堰御普請関係文書	
	無形	2	祭礼能、立物花火	
	有形民俗	7	石座石、服部神社伝来赤引糸関係遺物他	
	無形民俗	13	新城歌舞伎、鍋づる万灯、名越神楽、天王祭他	
	史跡	64	黒瀬遺跡、摩訶戸古墳群、新城城跡、信玄塚、富賀寺中世墓地、芭蕉句碑、蟻塚、今水寺跡他	
	名勝	4	鳴沢の滝、桜淵、鮎滝、富賀寺庭園	
	天然記念物	25	白鳥神社の大スギ、ヒメハルゼミ、有海ミカワバイケイソウ自生地、中央構造線長篠露頭他	



国指定文化財 望月家住宅【建造物】



国指定文化財 木造薬師如来坐像【彫刻】



県指定文化財 信玄原の火おんどり【無形民俗】



市指定文化財
ミカワバイケイソウ自生地【天然記念物】

【歴史・文化の活用】

《歴史・文化関連施設》

「鳳来寺山自然科学博物館」

鳳来寺山自然科学博物館は、国の指定名勝天然記念物・鳳来寺山を中心に、自然の宝庫である東三河を研究するため昭和24年9月に結成された「東三河の地質と鉱物の会」が田口鉄道鳳来寺駅の公舎を改造して開館した、田口鉄道自然科学博物館が前身になります。

そして、昭和38年4月26日、元鳳来寺村長で林業家の丸山喜兵衛氏の寄付により、日本初の二重展示方式を取り入れるなど全国的にも画期的な町立の自然科学博物館が建設されました。

各自然分野の専門家である学術委員による野外学習会などの教育普及活動は、開館時からたゆまず開催しています。また、展示においては、鳳来寺山をはじめとした当地域の地学、動植物などを幅広く展示しています。

また、県内最大規模の植物標本を収蔵するなど、自然資料の収集保存活動も行っています。



鳳来寺山自然科学博物館

「設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館」

日本三大決戦の一つとされる長篠・設楽原の戦いは、織田・徳川連合軍が初めて新兵器鉄砲(火縄銃)を大量に使用し、その威力をまざまざと見せつけ、後の戦術に一大変革をもたらした日本史に残る著名な戦いです。設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館には、戦国の分岐点を演じた「鉄砲の戦いー設楽原の決戦」にまつわる人、経緯、火縄銃の果たした役割・その歴史を展示しており、織田・徳川連合軍が陣地の前にめぐらした武田騎馬軍の進撃を防ぐための馬防柵も再現しています。

また、設楽原歴史資料館には、日本開国の基となった幕末の日米修好通商条約調印の立役者・岩瀬忠震についての資料も展示しています。



設楽原歴史資料館



長篠城址史跡保存館

「作手歴史民俗資料館」

作手高原には、「日本の重要湿地500」にも選定されている広大な湿地帯があり、人々は原始・古代から現代に至るまで、その湿地をたくみに利用してきました。

作手歴史民俗資料館には、こうした風土の中で育まれた人々の歴史、民俗や湿地についての資料が集められています。

《新城ふるさとマイスター》

趣味や仕事などで、豊富な知識や経験、優れた技術を持つその道の達人「新城ふるさとマイスター」が、地域での講演会や体験型行事の先生として、とっておきの技や知恵をお教えします。現在のふるさとマイスターは、次の方たちです。

◇新城ふるさとマイスター認定者一覧

氏名【内容】	氏名【内容】
藤田 萬吉 【木彫】	河部 義通 【柿酢】
林 吉宏 【農村家庭のしきたり】	滝川 英昭 【メンタルヘルス】
杉浦エリザベス・森田紀代美 【二ヶ国語絵本読み聞かせ】	岡田 真澄 【世界の桜】
竹本 政一 【陶工芸】	大井 みどり 【パッチワーク】
原田 弘子 【藍染】	古市 正一郎 【マジック（手品）】
菅谷 哲也 【火縄銃研究】	黒田 千歳 【和紙の花】
	菅谷 年弘 【趣味の庭造り】

《新城まちなか博物館》

新城まちなか博物館は、新城の風土の中で生まれた新しいタイプの博物館活動で、仕事場や生活の場がそのままミュージアムであるということです。

「まち」の活動や暮らしの工夫がそのまま博物館であり、生涯学習のキャンパスとなります。順次まちなか博物館の指定を進め、現在は18館になりました。

◇新城まちなか博物館指定一覧（平成21年度末現在）

No.	博物館名	内容
1	日野屋商店	酒蔵
2	中西農村民具室	明治時代からの農村民具の展示
3	大原商家民具室	明治時代からの商家民具の展示
4	はたおり工房	高機による機織り
5	馬場彫金工房	鋼板のレリーフ・器の作成
6	藍弘苑	本藍による絞り染め
7	出沢やままゆ養蚕所	やままゆ施設見学・養蚕体験
8	郷土の食品・さくら工房	そば・五平もち作り体験
9	竹細工工房	虫かご・歴史的建造物の制作
10	寒峰窯（陶工芸）	陶芸及び制作
11	ねんどの里	石粉粘土による創作人形
12	イーハートーブ吉川（染色工房）	染め絵制作
13	竹工房・雅夢	竹細工
14	明神窯（竹炭）	釜入れ・釜出し・材料集め体験
15	エコファーム河部自然農園	果樹栽培と柿酢作り
16	(有)伸昌 [しんしょう]	銅版を使った折鶴作り
17	ヴァイオリン工房 Sadaprimo	ヴァイオリン製作
18	医王寺民俗資料館	農具、家庭用品、鉱物、岩石等の展示



日野屋商店



はたおり工房



出沢やままゆ養蚕所



竹細工工房

3 交流

●環境交流

【自治体、NPO・NGO等との交流】

近隣自治体や同様の問題を抱えている自治体、NPO・NGO等との交流を深めることは、情報の共有化による取り組みの連携を図ることができるなどのメリットがあります。

《キャンドルナイト新城》

市では、私たちの現在のライフスタイルを少しでも改善するためのきっかけづくりとして「キャンドルナイト新城」を開催しています。

このアクションは、公募の市民実行委員会による「開催の趣旨づくり」から始まりました。

開催時期や場所、方法などが企画立案され、毎年多くの方の参観を得ています。

開催4回目となった平成21年度は11月14日、文化会館はなのき広場で実施され、約2,000名ものお客様がいらっしゃいました。会場は、幼稚園・保育園のキャンドルが並び、暖かな灯火に包まれました。

実行委員会では、毎年「メインアート」を作成しており、会場を訪れる方々の楽しみにもなっています。今回は「ハチドリのひとしずく」という物語の一場面を創出しました。これは、南アメリカの先住民に伝わるハチドリの物語で、「一人ひとりが自分にできることを実践し続けることの大切さ」を伝えています。

メインアートの意味を知った来場者は、口々に「個々の取り組み」の重要性や必要性について話されていました。

キャンドルナイト新城2009 開催の主旨

いま、地球温暖化問題が深刻化しています。

このままの状態では温暖化が進むと、水や食べ物の不足など様々な問題が起こり、次世代の生存についての危機がくると言われています。

温暖化の原因は、たくさんの水や電気、化石燃料（石油、ガソリンなど）を使い、そして、たくさんのごみを捨てるといったわたしたちのいまのライフスタイルにあります。

わたしたちがライフスタイルを見直すことで、温暖化問題は解決の方向に向かいます。

こうしたことから、仲間や家族、学校、会社など様々なグループで「電気を消してスローな夜」を感じ、今一度、生活の原点を見つめ直すきっかけづくりになればと思います。ここ新城市から「みんなのチカラ」で行動する参加型イベント「キャンドルナイト」を行っています。

あたたかな灯火に想いを込め、地球に優しい取り組みとしていきます。



《日本の環境首都コンテスト、同全国フォーラム、同東海地域交流会》

市では、市民（NGO）の視点からの環境自治体づくり支援およびNGOと自治体さらには自治体間の環境問題に関する情報の相互交換の促進を目的とした「日本の環境首都コンテスト」に参加しています。コンテストは、持続可能な地域社会の実現のためにNGOが重視する取り組みの有無について質問・審査されます。

新城市はこのコンテストを「市民の環境施策の提案書」として捉え、第1回目からこのコンテストに参加しています。

◇日本の環境首都コンテスト成績

参加年度	総合順位	人口規模別順位	参加年度	総合順位	人口規模別順位
H13年度	27位	3位	H17年度	2位	1位
H14年度	24位	2位	H18年度	3位	1位
H15年度	8位	2位	H19年度	5位	1位
H16年度	2位	2位	H20年度	5位	1位
			H21年度	5位	1位

※平成17年度から合併後の新城市として参加。

※人口規模5万人以下から5万人～10万人に区分変更。

さらに、コンテストが自治体の環境施策向上に活用されるよう、自治体とネットワーク合同の研究会や職員研修、地域ブロックごとに交流会が開催され、本市も参加しています。

◇交流会開催状況

区分	時期	開催場所
全国フォーラム	11月24日～25日	三河安城シティホテル：安城市
東海地域交流会	1月25日	掛川市役所

《森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト》

昨今の森林関連産業を取り巻く状況は厳しいものがあり、山村の過疎化や高齢化により林業に携わる人が減少してきたこと、採算の合う産業として成り立ちにくいことなどによって、森林が放置され荒廃化が進んでいます。

そんな状況を背景として、林業や製材業だけではない多様な角度からの「森との関わり方」を創出し、森林に関わる人材育成と新産業を創造することを目的として、平成18年11月16日に「森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト」が地域再生計画として認定されました。



具体的には、市内の森林NPOの活動を中心として、森林に関する基礎知識の学習や間伐・枝打ち・下草刈りなどの技術を覚えるための講習会を開催することにより、森林整備と人材育成のしくみを作り上げ、森づくりと人づくりを進めていきます。

平成21年度においては、初心者・中級者・上級者の3コースで計23回開催し、市内外から470名ほどが参加しました。